

平成30年度画像センシング技術研究会高木賞表彰者募集要項

1. 本事業の趣旨

本表彰は、本画像センシング技術研究会および画像センシングシンポジウム（SSII）の創始者であられる故高木幹雄先生の功績にちなんで創設されました。過去 SSII で発表された多くの研究成果の中から、その発明または考案が社会に多大なインパクトを与えたものを選定し、これに貢献された発表者の方々の功績を顕彰するものです。もって、我が国における科学技術の向上及び産業の発展に寄与することを目的とします。

2. 表彰

受賞者に対し、画像センシング技術研究会高木賞の正賞（受賞者全員）および副賞（代表者1名に金10万円の賞金）を贈呈します。

3. 表彰の要件

過去に画像センシングシンポジウム（SSII）で発表された研究成果のうち、当該年に行う公募に応じて発表者（連名を含む）による応募のあったもので、以下のカテゴリ a あるいはカテゴリ b の基準を満たすものとします。

カテゴリ a：対象となる研究に関連する特許等が出願されており（特許として登録されていることが望ましい）、秀でた進歩性を有し、かつ実施効果が顕著であり、科学技術の向上および産業の発展に寄与した研究成果であること。

カテゴリ b：独創性・新規性を有し、科学技術の向上および産業の発展に係る、新たな研究の方向性、あるいは新たな応用の可能性を切り開く、波及効果の著しく大きい研究成果であること。

4. 受賞者の資格

受賞候補者は当該研究に携わった SSII の発表者（連名を含む）であること。ただし、上記カテゴリ a の場合は、さらに関連する特許等の発明者でもあること。（SSII の発表者として予稿集上では連名になっていても、特許等の発明者でない者は受賞候補者になれない）

5. 応募方法

応募にあたっては、所定のフォーム（画像センシング技術研究会高木賞表彰調査表フォーム）を http://ssii.jp/ssii_takagi.html よりダウンロードし、記入要領に従って必要事項を記入の上、応募代表者の履歴書と併せて下記 6. に記載した応募受付期間内に画像センシング技術研究会高木賞表彰選考委員会に提出して下さい。なお、調査表等応募書類は一切返却しません。

<画像センシング技術研究会高木賞表彰選考委員会宛先>

〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27

アドコム・メディア(株) 気付

画像センシング技術研究会高木賞表彰選考委員会 宛

E-mail: n.kita@adcom-media.co.jp

（E-mail にてお送り下さい。郵送の場合は正・副 2 通をお送りください。受領後確認の連絡をいたします。）

6. 応募受付期間

平成30年1月12日（金） ～ 2月16日（金）

7. 審査

- ・画像センシング技術研究会高木賞表彰選考委員会において審査します。
- ・選考委員会は、応募者に対して説明を求め、特に必要と認めた場合には実地調査を行うことがあります。
- ・選考結果に対する異議の申立て、お問合せ等についてはお受けしません。

8. 発表

受賞者に通知（平成30年4月上旬）するとともに画像センシング技術研究会の公式ホームページ（<http://ssii.jp/>）上で発表（5月）します。

9. 表彰式

平成30年6月14日（木）SSII2017にて表彰式を行います。また、懇親会にご招待いたします。

10. その他

本表彰の趣旨を著しく損なうような行為および応募書類に事実と反する記載があった場合は、応募の資格を失います。

<参考資料> 画像センシング技術研究会高木賞歴代受賞者

- 平成 19 年度 (SSII07) 「テクスチャ背景差分とシルエットモデルを用いた車両追跡手法」
関真規人、藤原秀人、鷲見和彦 (三菱電機)
- 平成 20 年度 (SSII08) 「小型システムのための高性能画像処理 LSI “SuperVchip” の開発」
村松彰二 (日立製作所)、小林芳樹 (イメージ・アルファ)、大塚裕史 (日立製作所)、
廣瀬健二 (日立情報制御ソリューションズ)、今井聡彦 (日立情報制御ソリューションズ)、
山田茂義 (ルネサス北日本セミコンダクタ)
- 平成 21 年度 (SSII09) 「顔画像センシング技術 OKAO Vision」
川出雅人、勞 世竝、木下航一、瀧川えりな、井尻善久、山下隆義 (オムロン)
- 平成 22 年度 (SSII2010) 「IMAP シリーズ動画画像認識処理プロセッサの研究開発とその製品化」
京 昭倫、岡崎信一郎 (ルネサスエレクトロニクス)、藤田善弘、山下信行 (NEC)
- 平成 23 年度 (SSII2011) 「画像解析型架線検測システム CATENARY EYE」
渡部勇介、庭川 誠、藤原伸行 (明電舎)、木下信夫 (九州旅客鉄道)
- 平成 24 年度 (SSII2012) 「高次局所自己相関特徴を用いた適応学習型汎用認識システム」
大津展之 (産業技術総合研究所)
- 平成 25 年度 (SSII2013) 「画像の自己合同性を利用したフレーム内再構成型超解像」
松本信幸、井田 孝 (東芝)
- 平成 26 年度 (SSII2014) 「複数フレームを利用した画像超解像」
奥富正敏、田中正行、後藤知将、清水雅夫、矢口陽一、魏大比 (東京工業大学)
- 平成 27 年度 (SSII2015) 「デジタルカメラを用いたロバストステレオマッチング法による 3 次元画像計測法の研究、モデリングシステムの構築とその実用化研究」
高地伸夫、伊藤忠之、大谷仁志 (トプコン)
- 平成 28 年度 (SSII2016) 「スワイプ撮像による DFD とオートフォーカスへの応用」
長原 一 (九州大学)、河村 岳、安木俊介 (パナソニック)
- 平成 29 年度 (SSII2017) 「人の検査メカニズムに学ぶ【傷の気付き】処理」
青木公也、松原琢磨、輿水大和 殿 (中京大学)、三和田靖彦 (トヨタ自動車・理化学研究所)

<画像センシング技術研究会高木賞表彰選考委員会>

委員長：久野義徳 (埼玉大学)

委員：輿水大和 (中京大学；画像センシング技術研究会会長)、恩田寿和 (明電舎)、金子俊一 (北海道大学)、
坂上勝彦 (産業技術総合研究所)、鷲見和彦 (青山学院大学)、中島慶人 (電力中央研究所)